

神戸大学楠キャンパス福利厚生施設整備運営事業

計画の概要

1. 景観影響建築行為予定者の氏名及び住所

JA 三井リース建物株式会社 代表取締役社長 工藤 真樹
東京都中央区銀座8丁目13番1号

2. 設計者の氏名及び住所

株式会社大林組大阪本店一級建築士事務所 石井 眞由美
大阪市北区中之島3丁目6番32号

3. 計画名称

神戸大学楠キャンパス福利厚生施設整備運営事業

4. 景観影響建築行為の概要

- | | |
|------------|-----------------|
| (1) 所在及び地番 | 中央区楠町7丁目5番2号 |
| (2) 敷地面積 | 約 42,397 平方メートル |
| (3) 建築面積 | 約 1,070 平方メートル |
| (4) 延べ面積 | 約 6,658 平方メートル |
| (5) 高さ | 約 39.1 メートル |
| (6) 構造 | 鉄骨造 |
| (7) 階数 | 地上7階／塔屋1階 |
| (8) 建物用途 | 大学・物販・飲食店 |



完成予想図

協議の経過及び内容（計画段階）

1. 計画段階デザイン協議の申出年月日

令和3年4月13日

2. 景観アドバイザー専門部会の開催年月日

令和3年5月24日

3. 良好な景観の形成に関する意見を神戸市長から通知した年月日及び内容

令和3年5月27日

- ・建物の街角に面する部分はオープンスペースの活用等により賑わいの滲みだしの演出を検討するとともに、駐車台数の整理や南面からの駐車場のアイレベルでの見え方に配慮した修景により、街角に豊かな広場空間を創出するよう検討してください。
- ・建物南西角のデザインは、ルーバー奥の設備等の見え方にも配慮して、丁寧に検討してください。
- ・照明計画について、建物は低色温度で優しい印象とするとともに、外構は歩行空間がより魅力的なものとなるように検討してください。

4. 神戸市長からの意見に対する景観影響建築行為予定者からの回答年月日及び内容

令和3年7月20日

- ・2F カフェ前のテラスを拡張し、南西角に賑わいを創出します。また、駐車場は中止しました。
- ・ルーバー内は設備置場を配置せず、メンテナンス歩廊のみとします。
- ・照明計画について、外構は低色温度で優しい印象となるよう設計し、歩行だけでなく、溜まりの空間も創出します。

協議の経過及び内容（設計段階）

1. 設計段階デザイン協議の申出年月日

令和3年7月20日

2. 設計段階デザイン協議の申出があった旨の公告年月日

令和3年7月28日

3. 設計段階デザイン協議の申出に係る書面等の縦覧期間及び場所

令和3年7月28日から同年8月11日まで

神戸市都市局景観政策課窓口

4. 景観アドバイザー専門部会の開催日時

令和3年8月23日

5. 良好な景観の形成に関する意見を神戸市長から通知した年月日及び内容

令和3年8月27日

- ・建物の外観デザインについて、人からよく見える部分の色彩のコントラストがきつくないよう丁寧に検討するとともに、建物に馴染むシンプルなサインの実現に向

けて引き続き検討してください。

- ・外構について、舗装の質感や植栽の量・形状などにも配慮し、街角に豊かな広場空間を創出するよう検討してください。
- ・照明計画について、夜間の歩行者空間にも配慮して、低色温度で魅力的な夜間景観を創出するように検討してください。

6. 神戸市長からの意見に対する景観影響建築行為予定者からの回答年月日及び内容

令和3年9月13日

- ・東面外壁色は既存建物との調和を図った色彩とするとともに、コントラストがきつくないよう面により色彩を切り替えた統一感のある外装計画としています。また、サインについては既存サインのフォントやロゴ等に捉われることなく、シンプルかつ視認性の良い計画とします。
- ・外構について、周辺歩道の舗装色や質感に合わせて舗装素材を選定することで、南東角のオープンスペースと街並みが調和するようにします。
- ・夜間（22時頃まで）でも安全に歩行できる魅力的な低色温度の照明計画とします。

7. 協議の成立年月日

令和3年9月14日